



2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月26日

上場会社名 日本電産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6594 URL <https://www.nidec.com/jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役会長（氏名） 永守 重信
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 経理部担当（氏名） 横田 秀俊 (TEL) 075-935-6200
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 税引前利益 | | 親会社の所有者に帰属する四半期利益 | | 四半期包括利益合計額 | |
|---------------|---------------|-----|----------------|------|--------|-----|-------------------|------|------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 751,794 | 0.1 | 69,180 | 12.0 | 66,005 | 4.2 | 48,783 | 79.2 | 40,554 | — |
| 2020年3月期第2四半期 | 751,277 | — | 61,787 | — | 63,330 | — | 27,227 | — | △23,098 | — |
| | 基本的1株当たり四半期利益 | | 希薄化後1株当たり四半期利益 | | | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | | | |
| 2021年3月期第2四半期 | 83.28 | | — | | | | | | | |
| 2020年3月期第2四半期 | 46.26 | | — | | | | | | | |

- (注) 1. 基本的及び希薄化後1株当たり四半期利益については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の数値を基に算出しております。
 2. 当第2四半期連結累計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度の要約四半期連結財務諸表及び連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。また、前第1四半期連結会計期間よりセコップ社の冷蔵庫向けコンプレッサー事業を非継続事業に分類しております。これにより、売上高、営業利益及び税引前利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。
 3. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社の所有者に帰属する持分 | 親会社所有者帰属持分比率 |
|---------------|-----------|---------|----------------|--------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 2,078,544 | 985,577 | 966,604 | 46.5 |
| 2020年3月期 | 2,122,493 | 967,633 | 947,290 | 44.6 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 55.00 | — | 60.00 | 115.00 |
| 2021年3月期 | — | 30.00 | — | — | — |
| 2021年3月期(予想) | — | — | — | 30.00 | 60.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2020年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 税引前利益 | | 親会社の所有者に帰属する当期利益 | | 基本的1株当たり当期利益 |
|----|-----------|-----|---------|------|---------|------|------------------|------|--------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,550,000 | 1.0 | 140,000 | 29.0 | 136,000 | 29.3 | 105,000 | 79.6 | 179.26 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2021年3月期2Q | 596,284,468株 | 2020年3月期 | 596,284,468株 |
| 2021年3月期2Q | 10,551,320株 | 2020年3月期 | 10,530,534株 |
| 2021年3月期2Q | 585,733,592株 | 2020年3月期2Q | 588,587,131株 |

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.10「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当第2四半期連結累計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度の要約四半期連結財務諸表及び連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。

また、前第1四半期連結会計期間よりセコップ社の冷蔵庫向けコンプレッサー事業を非継続事業に分類しております。これにより、売上高、営業利益及び税引前利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。

決算説明会プレゼンテーション資料はTDnetで2020年10月26日(月)に開示し、同日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

【添付資料 目次】

| | |
|--|-------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 8 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 10 |
| 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 | P. 11 |
| (1) 要約四半期連結財政状態計算書 | P. 11 |
| (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 | P. 13 |
| (3) 要約四半期連結持分変動計算書 | P. 17 |
| (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 18 |
| (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 19 |
| 3. その他 | P. 21 |
| (1) 当連結会計年度における各四半期業績の推移状況 | P. 21 |
| (2) 製品グループ別売上高・営業損益情報 | P. 21 |
| (3) 所在地別売上高情報 | P. 23 |
| (4) 地域別売上高情報 | P. 24 |
| 4. 四半期連結決算概要 | P. 25 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

2020年度（令和2年度）上期の世界経済は、国際通貨基金（IMF）の世界経済見通し（WE0）で新型コロナウイルスの感染拡大により2020年を4.4%のマイナス成長と予測、6月時点から0.8ポイント上方修正しており、巨額の財政出動で悪化幅は縮小したものの、リーマンショック時の2009年（0.1%減）を大幅に上回っております。主要国は合計で12兆ドルもの巨額の財政出動を打ち出し、世界経済は7～9月期から回復軌道に戻りつつありますが、巨額の公的・民間債務が経済成長を抑えるため、今後の回復力は鈍化する見通しです。WE0によれば米国は経済再開を急いだため感染者数は世界最大ながら、景気は想定より早く持ち直す見込みであり、中国は2020年では世界で唯一1.9%のプラス成長が見込まれております。日本は感染者数の拡大が比較的抑えられており、2020年の成長率はマイナス5.3%と6月時点の予測から0.5ポイント上方修正しておりますが、それでもリーマンショック直後の2009年（5.4%減）並みのマイナス成長が見込まれております。

②連結業績

〔当第2四半期連結累計期間（6ヵ月）業績について〕

（単位：百万円）

| | 前第2四半期 | 当第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|-----------------------|------------------|------------------|------------|------------|
| 売上高 | 751,277 | 751,794 | 517 | 0.1% |
| 営業利益 (利益率) | 61,787 (8.2%) | 69,180 (9.2%) | 7,393 — | 12.0% — |
| 税引前四半期利益 | 63,330 | 66,005 | 2,675 | 4.2% |
| 継続事業からの四半期利益 | 48,371 | 49,438 | 1,067 | 2.2% |
| 非継続事業からの四半期損失 | △19,955 | △99 | 19,856 | — |
| 親会社の所有者に 帰属する四半期利益 | 27,227 | 48,783 | 21,556 | 79.2% |

当第2四半期連結累計期間の継続事業からの連結売上高は、前年同期比0.1%増収の7,517億94百万円となりました。営業利益は、WPR4プロジェクトによる徹底した原価改善及び固定費適正化等を実行したことにより、前年同期比12.0%増益の691億80百万円となりました。税引前四半期利益は前年同期比4.2%増益の660億5百万円となりました。継続事業からの四半期利益は前年同期比2.2%増益の494億38百万円となりました。

非継続事業からの四半期損失を含めた親会社の所有者に帰属する四半期利益は、当社が保有するセコップ社の冷蔵庫向けコンプレッサー事業の譲渡等による前期の損失計上により、前年同期比79.2%増益の487億83百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の対米ドル平均為替レート（1ドル当たり106.92円）は前年同期比約2%の円高、対ユーロ平均為替レート（1ユーロ当たり121.30円）は前年同期比で僅かに円高となり、前年同期比の為替の影響は売上高では約93億円の減収、営業利益では約4億円の減益要因となりました。

当第2四半期連結累計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。また、前第1四半期連結会計期間よりセコップ社の冷蔵庫向けコンプレッサー事業を非継続事業に分類しております。これにより、売上高、営業利益及び税引前利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。

製品グループ別の売上高と営業利益の状況は次のとおりです。

「精密小型モータ」製品グループ

(単位：百万円)

| | 前第2四半期 | 当第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|----------|---------|---------|--------|-------|
| 外部売上高 | 219,810 | 223,462 | 3,652 | 1.7% |
| HDD用モータ | 77,614 | 84,206 | 6,592 | 8.5% |
| その他小型モータ | 142,196 | 139,256 | △2,940 | △2.1% |
| 営業利益 | 24,989 | 33,099 | 8,110 | 32.5% |
| (利益率) | (11.4%) | (14.8%) | — | — |

売上高は前年同期比1.7%増収の2,234億62百万円、為替の影響は前年同期比約25億円の減収要因となりました。

HDD用モータは前年同期比8.5%増収の842億6百万円となりました。販売数量は前年同期比で約10.2%減少しましたが、データセンター用HDDモータ等の販売が好調なため、増収となりました。その他小型モータは減収となり、売上高は前年同期比2.1%減収の1,392億56百万円となりました。

営業利益は徹底的な原価改善等を実行し、前年同期比32.5%増益の330億99百万円となりました。為替の影響は前年同期比約3億円の減益要因となりました。

「車載」製品グループ

(単位：百万円)

| | 前第2四半期 | 当第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|-------|---------|---------|--------|--------|
| 外部売上高 | 150,832 | 149,135 | △1,697 | △1.1% |
| 営業利益 | 13,582 | 4,397 | △9,185 | △67.6% |
| (利益率) | (9.0%) | (2.9%) | — | — |

売上高は日本電産モーターズアンドアクチュエーターズのアクチュエータ製品や日本電産トーソクのコントロールバルブ等が大きく減収となる一方、オムロンオートモーティブエレクトロニクス買収の影響により、前年同期比1.1%減収の1,491億35百万円となりました。為替の影響は前年同期比約11億円の減収要因となりました。

営業利益は需要が急拡大しているトラクションモータシステム(E-Axle)等の開発費等を継続して計上している一方、WPR4プロジェクトによるあらゆる原価改善に総力を挙げて取り組んだ結果、前年同期比67.6%減益の43億97百万円となりました。為替の影響は前年同期比約2億円の増益要因となりました。

「家電・商業・産業用」製品グループ

(単位：百万円)

| | 前第2四半期 | 当第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|------------------|------------------|------------|------------|
| 外部売上高 | 270,580 | 273,334 | 2,754 | 1.0% |
| 営業利益 (利益率) | 18,615 (6.9%) | 22,022 (8.1%) | 3,407 — | 18.3% — |

売上高は主にエンブラコ買収の影響により、前年同期比1.0%増収の2,733億34百万円となりました。為替の影響は前年同期比約42億円の減収要因となりました。

営業利益は原価改善及び固定費適正化を主因に、前年同期比18.3%増益の220億22百万円となりました。為替の影響は前年同期比約3億円の減益要因となりました。

「機器装置」製品グループ

(単位：百万円)

| | 前第2四半期 | 当第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|-------------------|-------------------|------------|------------|
| 外部売上高 | 76,980 | 74,650 | △2,330 | △3.0% |
| 営業利益 (利益率) | 11,189 (14.5%) | 12,329 (16.5%) | 1,140 — | 10.2% — |

売上高はカードリーダー及び減速機の減収等により、前年同期比3.0%減収の746億50百万円となりました。

営業利益は売上減に伴う利益の減少があったものの、原価改善及び固定費適正化の効果により前年同期比10.2%増益の123億29百万円となりました。

「電子・光学部品」製品グループ

(単位：百万円)

| | 前第2四半期 | 当第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|-----------------|------------------|----------|------------|
| 外部売上高 | 30,805 | 29,607 | △1,198 | △3.9% |
| 営業利益 (利益率) | 2,388 (7.8%) | 3,317 (11.2%) | 929 — | 38.9% — |

売上高は前年同期比3.9%減収の296億7百万円、営業利益は原価改善を主因に、前年同期比38.9%増益の33億17百万円となりました。

「その他」製品グループ

(単位：百万円)

| | 前第2四半期 | 当第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|----------------|----------------|-----------|-------------|
| 外部売上高 | 2,270 | 1,606 | △664 | △29.3% |
| 営業利益 (利益率) | 332 (14.6%) | 181 (11.3%) | △151 — | △45.5% — |

売上高は前年同期比29.3%減収の16億6百万円、営業利益は前年同期比45.5%減益の1億81百万円となりました。

〔直前四半期（2021年3月期第1四半期連結会計期間（3ヶ月）：当期1Q）との比較〕

(単位：百万円)

| | 当期第1四半期 | 当期第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|-----------------------|------------------|-------------------|-------------|------------|
| 売上高 | 336,876 | 414,918 | 78,042 | 23.2% |
| 営業利益 (利益率) | 27,793 (8.3%) | 41,387 (10.0%) | 13,594 — | 48.9% — |
| 税引前四半期利益 | 27,410 | 38,595 | 11,185 | 40.8% |
| 継続事業からの四半期利益 | 20,461 | 28,977 | 8,516 | 41.6% |
| 非継続事業からの四半期損失 | △74 | △25 | 49 | — |
| 親会社の所有者に 帰属する四半期利益 | 20,058 | 28,725 | 8,667 | 43.2% |

当第2四半期連結会計期間の継続事業からの連結売上高は、直前四半期比23.2%増収の4,149億18百万円となり、四半期連結会計期間の過去最高を更新致しました。営業利益は、WPR4プロジェクトによる徹底した原価改善及び固定費適正化等を実行したことにより、直前四半期比48.9%増益の413億87百万円となり、営業利益率も2桁(10.0%)に回復致しました。税引前四半期利益は直前四半期比40.8%増益の385億95百万円となりました。継続事業からの四半期利益は直前四半期比41.6%増益の289億77百万円となりました。

非継続事業からの四半期損失を含めた親会社の所有者に帰属する四半期利益は、直前四半期比43.2%増益の287億25百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間の対米ドル平均為替レート(1ドル当たり106.22円)は直前四半期比約1%の円高、対ユーロ平均為替レート(1ユーロ当たり124.11円)は直前四半期比約5%の円安となり、直前四半期比の為替の影響は、売上高では約10億円の減収要因、営業利益では約5億円の減益要因となりました。

製品グループ別の売上高と営業利益の状況は次のとおりです。

「精密小型モータ」製品グループ

(単位：百万円)

| | 当期第1四半期 | 当期第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|-------------------|-------------------|------------|------------|
| 外部売上高 | 104,418 | 119,044 | 14,626 | 14.0% |
| HDD用モータ | 37,043 | 47,163 | 10,120 | 27.3% |
| その他小型モータ | 67,375 | 71,881 | 4,506 | 6.7% |
| 営業利益 (利益率) | 14,283 (13.7%) | 18,816 (15.8%) | 4,533 — | 31.7% — |

売上高は直前四半期比14.0%増収の1,190億44百万円、為替の影響は直前四半期比約7億円の減収要因となりました。

HDD用モータは直前四半期比27.3%増収の471億63百万円となりました。販売数量は直前四半期比で約25.4%増加しております。その他小型モータは直前四半期比6.7%増収の718億81百万円となりました。

営業利益は増収等により直前四半期比31.7%増益の188億16百万円となりました。為替の影響は直前四半期比約2億円の減益要因となりました。

当第2四半期連結累計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第1四半期連結会計期間の要約四半期連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。また、前第1四半期連結会計期間よりセコップ社の冷蔵庫向けコンプレッサ事業を非継続事業に分類しております。これにより、売上高、営業利益及び税引前利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。

「車載」製品グループ

(単位：百万円)

| | 当期第1四半期 | 当期第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|---------------------|-----------------|-----------------|------------|--------|
| 外部売上高 | 56,797 | 92,338 | 35,541 | 62.6% |
| 営業利益 (△損失) (利益率) | △258 (△0.5%) | 4,655 (5.0%) | 4,913 — | — — |

売上高は車載電装部品やアクチュエータ製品の増収等を主に、直前四半期比62.6%増収の923億38百万円となりました。為替の影響は直前四半期比約9億円の増収要因となりました。

営業利益は需要が急拡大しているトラクションモータシステム (E-Axle) 等の開発費等を継続して計上している一方、WPR4プロジェクトによるあらゆる原価改善に総力を挙げて取り組んだ結果、直前四半期に比べ49億13百万円増加し、46億55百万円となりました。トラクションモータ以外の既存製品については増収及びWPR4プロジェクトを通じた原価改善等により2桁の営業利益率に回復致しました。為替の影響は直前四半期比約2億円の増益要因となりました。

「家電・商業・産業用」製品グループ

(単位：百万円)

| | 当期第1四半期 | 当期第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|-----------------|------------------|------------|------------|
| 外部売上高 | 125,096 | 148,238 | 23,142 | 18.5% |
| 営業利益 (利益率) | 8,967 (7.2%) | 13,055 (8.8%) | 4,088 — | 45.6% — |

売上高は世界的な需要の回復に伴い、直前四半期比18.5%増収の1,482億38百万円となりました。為替の影響は直前四半期比約10億円の減収要因となりました。

営業利益は増収及び原価改善や固定費適正化等により直前四半期比45.6%増益の130億55百万円となりました。為替の影響は直前四半期比約2億円の減益要因となりました。

「機器装置」製品グループ

(単位：百万円)

| | 当期第1四半期 | 当期第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|------------------|------------------|----------|------------|
| 外部売上高 | 35,729 | 38,921 | 3,192 | 8.9% |
| 営業利益 (利益率) | 6,181 (17.3%) | 6,148 (15.8%) | △33 — | △0.5% — |

売上高は液晶ガラス基板搬送用ロボット等の増収等により、直前四半期比8.9%増収の389億21百万円となりました。

営業利益は売上増に伴う利益の増加があったものの製品構成の悪化等により、直前四半期比0.5%減益の61億48百万円となりました。

「電子・光学部品」製品グループ

(単位：百万円)

| | 当期第1四半期 | 当期第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|------------------|------------------|----------|------------|
| 外部売上高 | 14,086 | 15,521 | 1,435 | 10.2% |
| 営業利益 (利益率) | 1,496 (10.6%) | 1,821 (11.7%) | 325 — | 21.7% — |

売上高は直前四半期比10.2%増収の155億21百万円、営業利益は増収を主に、直前四半期比21.7%増益の18億21百万円となりました。

「その他」製品グループ

(単位：百万円)

| | 当期第1四半期 | 当期第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|---------------|---------------|---------|------------|
| 外部売上高 | 750 | 856 | 106 | 14.1% |
| 営業利益 (利益率) | 84 (11.2%) | 97 (11.3%) | 13 — | 15.5% — |

売上高は直前四半期比14.1%増収の8億56百万円、営業利益は直前四半期比15.5%増益の97百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

| | 前連結 会計年度 | 当第2四半期 連結会計期間 | 増減 |
|------------------------|-------------|------------------|---------|
| 資産合計 (百万円) | 2,122,493 | 2,078,544 | △43,949 |
| 負債合計 (百万円) | 1,154,860 | 1,092,967 | △61,893 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 (百万円) | 947,290 | 966,604 | 19,314 |
| 有利子負債 (百万円) *1 | 599,951 | 577,944 | △22,007 |
| ネット有利子負債 (百万円) *2 | 392,965 | 402,090 | 9,125 |
| 借入金比率 (%) *3 | 28.3 | 27.8 | △0.5 |
| DEレシオ (倍) *4 | 0.63 | 0.60 | △0.03 |
| ネットDEレシオ (倍) *5 | 0.41 | 0.42 | 0.01 |
| 親会社所有者帰属持分比率 (%) *6 | 44.6 | 46.5 | 1.9 |

(注) *1 有利子負債：連結財政状態計算書上の「短期借入金」、「1年以内返済予定長期債務」及び「長期債務」

*2 ネット有利子負債：有利子負債－「現金及び現金同等物」

*3 借入金比率：有利子負債÷資産合計

*4 DEレシオ：有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分合計

*5 ネットDEレシオ：ネット有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分合計

*6 親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分合計÷資産合計

当第2四半期連結会計期間末の資産合計残高は、前期末(2020年3月末)比439億49百万円減少の2兆785億44百万円となりました。この主な要因は、現金及び現金同等物が311億32百万円、棚卸資産が97億51百万円減少したことによります。

負債合計残高は前期末比618億93百万円減少の1兆929億67百万円となりました。この主な要因は、営業債務及びその他の債務が318億27百万円減少、有利子負債が220億7百万円減少したことによります。有利子負債の内訳は、短期借入金残高が112億42百万円減少の1,057億12百万円、1年以内返済予定長期債務が132億67百万円減少の986億7百万円、長期債務が25億2百万円増加の3,736億25百万円であります。

この結果、ネット有利子負債は4,020億90百万円のプラス(前期末3,929億65百万円のプラス)、リース債務を含む借入金比率は27.8%(前期末28.3%)となりました。DEレシオは0.60倍(前期末0.63倍)となり、ネットDEレシオは0.42倍のプラス(前期末0.41倍のプラス)となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、193億14百万円増加の9,666億4百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は46.5%(前期末44.6%)となりました。この主な要因は利益剰余金が325億7百万円増加したことによるものです。一方で在外営業活動体の換算差額等によりその他の資本の構成要素が94億19百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度の連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。

(キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期 連結累計期間 | 当第2四半期 連結累計期間 | 増減 |
|------------------|------------------|------------------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 73,848 | 76,114 | 2,266 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △180,360 | △52,287 | 128,073 |
| フリー・キャッシュ・フロー *1 | △106,512 | 23,827 | 130,339 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 74,157 | △53,062 | △127,219 |

(注) *1 フリー・キャッシュ・フロー：営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の営業キャッシュ・フローは761億14百万円の収入となり、前年同期比22億66百万円の収入増加となりました。この主な要因は、四半期利益が209億23百万円、棚卸資産の増減額が70億52百万円増加したことによります。一方で、非継続事業の売却損失が182億82百万円減少、営業債権の増減額が82億60百万円増加しております。

また、投資キャッシュ・フローは522億87百万円の支出となり、前年同期比1,280億73百万円の支出減少となりました。この主な要因は、事業取得による支出が1,067億40百万円、有形固定資産の取得による支出が242億3百万円減少したことによります。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは238億27百万円の収入（前年同期は1,065億12百万円の支出）となり、前年同期比1,303億39百万円のプラスとなりました。

財務キャッシュ・フローは530億62百万円の支出となり、前年同期比1,272億19百万円の支出増加となりました。この主な要因は、社債の発行による収入が500億円減少、社債の償還による支出が350億円増加、短期借入金の純増減額が359億6百万円減少したことによります。

前述の要因と為替の影響により、現金及び現金同等物の残高は1,758億54百万円で前期末より311億32百万円減少致しました。上記の金額は全て非継続事業を含むキャッシュ・フローの合計金額であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済の動向は、先進国を中心に大規模な財政出動により回復軌道に戻りつつありますが、米州・南アジア・アフリカ等でのコロナウイルス感染拡大が収まっていないこと、欧州での第2波の到来、企業業績の悪化、米中対立、及び米国大統領選挙の行方等のリスク要因があり、予断を許さない状況が続くことが見込まれます。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、前回(2020年7月21日)に公表した業績予想の想定を上回る実績となりましたので、以下のとおり通期の業績予想の見直しを致します。

なお、想定平均為替レートについては従来どおり、対米ドルでは105円、対ユーロでは117円として変更しておりません。

***2020年度連結通期業績見直し**

| | | |
|------------------|---------------|---------------|
| 売上高 | 1,550,000 百万円 | (対前期比 101.0%) |
| 営業利益 | 140,000 百万円 | (対前期比 129.0%) |
| 税引前当期利益 | 136,000 百万円 | (対前期比 129.3%) |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 105,000 百万円 | (対前期比 179.6%) |

(注) 業績見直しについて

①連結決算業績は国際会計基準(IFRS)によっております。

②為替水準の設定はアジア通貨も1US\$=105円、1ユーロ=117円に連動して設定。

<業績等の予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び現金同等物 | 206,986 | 175,854 |
| 営業債権及びその他の債権 | 394,259 | 402,872 |
| その他の金融資産 | 913 | 2,619 |
| 未収法人所得税 | 12,885 | 9,231 |
| 棚卸資産 | 278,185 | 268,434 |
| その他の流動資産 | 40,309 | 40,269 |
| 流動資産合計 | 933,537 | 899,279 |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産 | 633,604 | 634,371 |
| のれん | 310,487 | 307,248 |
| 無形資産 | 191,653 | 189,327 |
| 持分法で会計処理されている投資 | 3,294 | 3,065 |
| その他の投資 | 14,479 | 15,071 |
| その他の金融資産 | 6,888 | 6,672 |
| 繰延税金資産 | 18,274 | 13,624 |
| その他の非流動資産 | 10,277 | 9,887 |
| 非流動資産合計 | 1,188,956 | 1,179,265 |
| 資産合計 | 2,122,493 | 2,078,544 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 116,954 | 105,712 |
| 1年以内返済予定長期債務 | 111,874 | 98,607 |
| 営業債務及びその他の債務 | 345,193 | 313,366 |
| その他の金融負債 | 9,109 | 4,938 |
| 未払法人所得税 | 18,726 | 17,572 |
| 引当金 | 30,430 | 31,288 |
| その他の流動負債 | 64,884 | 64,175 |
| 流動負債合計 | 697,170 | 635,658 |
| 非流動負債 | | |
| 長期債務 | 371,123 | 373,625 |
| その他の金融負債 | 4,085 | 1,948 |
| 退職給付に係る負債 | 31,077 | 31,514 |
| 引当金 | 942 | 724 |
| 繰延税金負債 | 45,830 | 44,530 |
| その他の非流動負債 | 4,633 | 4,968 |
| 非流動負債合計 | 457,690 | 457,309 |
| 負債合計 | 1,154,860 | 1,092,967 |
| 資本の部 | | |
| 資本金 | 87,784 | 87,784 |
| 資本剰余金 | 114,754 | 111,086 |
| 利益剰余金 | 924,293 | 956,800 |
| その他の資本の構成要素 | △115,791 | △125,210 |
| 自己株式 | △63,750 | △63,856 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 947,290 | 966,604 |
| 非支配持分 | 20,343 | 18,973 |
| 資本合計 | 967,633 | 985,577 |
| 負債及び資本合計 | 2,122,493 | 2,078,544 |

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|---------------|---|---|
| 継続事業 | | |
| 売上高 | 751,277 | 751,794 |
| 売上原価 | △582,773 | △585,079 |
| 売上総利益 | 168,504 | 166,715 |
| 販売費及び一般管理費 | △69,664 | △66,293 |
| 研究開発費 | △37,053 | △31,242 |
| 営業利益 | 61,787 | 69,180 |
| 金融収益 | 6,050 | 2,230 |
| 金融費用 | △5,514 | △3,202 |
| デリバティブ関連損益 | △1,730 | △620 |
| 為替差損益 | 3,530 | △1,303 |
| 持分法による投資損益 | △793 | △280 |
| 税引前四半期利益 | 63,330 | 66,005 |
| 法人所得税費用 | △14,959 | △16,567 |
| 継続事業からの四半期利益 | 48,371 | 49,438 |
| 非継続事業 | | |
| 非継続事業からの四半期損失 | △19,955 | △99 |
| 四半期利益 | 28,416 | 49,339 |
| 四半期利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 27,227 | 48,783 |
| 非支配持分 | 1,189 | 556 |
| 四半期利益 | 28,416 | 49,339 |

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 四半期利益 | 28,416 | 49,339 |
| その他の包括利益 (税引後) | | |
| 純損益に振り替えられることのない項目 | | |
| 確定給付制度に係る再測定 | △972 | △21 |
| FVTOCI資本性金融資産の公正価値の純変動 | △8 | 478 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目 | | |
| 在外営業活動体の換算差額 | △49,423 | △13,363 |
| キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分 | △1,115 | 4,096 |
| FVTOCI負債性金融資産の公正価値の純変動 | 4 | 25 |
| その他の包括利益 (税引後) 合計 | △51,514 | △8,785 |
| 四半期包括利益 | △23,098 | 40,554 |
| 四半期包括利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | △22,868 | 39,814 |
| 非支配持分 | △230 | 740 |
| 四半期包括利益 | △23,098 | 40,554 |

【第2四半期連結会計期間】
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日) |
|---------------|---|---|
| 継続事業 | | |
| 売上高 | 390,403 | 414,918 |
| 売上原価 | △301,628 | △321,369 |
| 売上総利益 | 88,775 | 93,549 |
| 販売費及び一般管理費 | △36,221 | △36,015 |
| 研究開発費 | △18,399 | △16,147 |
| 営業利益 | 34,155 | 41,387 |
| 金融収益 | 3,059 | 806 |
| 金融費用 | △3,213 | △1,523 |
| デリバティブ関連損益 | △676 | △455 |
| 為替差損益 | △432 | △1,511 |
| 持分法による投資損益 | △498 | △109 |
| 税引前四半期利益 | 32,395 | 38,595 |
| 法人所得税費用 | △7,701 | △9,618 |
| 継続事業からの四半期利益 | 24,694 | 28,977 |
| 非継続事業 | | |
| 非継続事業からの四半期損失 | △174 | △25 |
| 四半期利益 | 24,520 | 28,952 |
| 四半期利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 23,943 | 28,725 |
| 非支配持分 | 577 | 227 |
| 四半期利益 | 24,520 | 28,952 |

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 四半期利益 | 24,520 | 28,952 |
| その他の包括利益 (税引後) | | |
| 純損益に振り替えられることのない項目 | | |
| 確定給付制度に係る再測定 | 11 | 27 |
| FVTOCI資本性金融資産の公正価値の純変動 | 307 | △38 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目 | | |
| 在外営業活動体の換算差額 | △15,625 | △10,211 |
| キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分 | △995 | 1,394 |
| FVTOCI負債性金融資産の公正価値の純変動 | 3 | 8 |
| その他の包括利益 (税引後) 合計 | △16,299 | △8,820 |
| 四半期包括利益 | 8,221 | 20,132 |
| 四半期包括利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 8,330 | 19,771 |
| 非支配持分 | △109 | 361 |
| 四半期包括利益 | 8,221 | 20,132 |

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | | 非支配持分 | 資本合計 |
|--------------------|----------------|---------|---------|-------------|---------|---------|--------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | その他の資本の構成要素 | 自己株式 | 合計 | | |
| 2019年4月1日残高 | 87,784 | 118,314 | 900,768 | △64,775 | △45,296 | 996,795 | 22,834 | 1,019,629 |
| 会計方針の変更 | | | △407 | | | △407 | | △407 |
| 修正再表示後の残高 | 87,784 | 118,314 | 900,361 | △64,775 | △45,296 | 996,388 | 22,834 | 1,019,222 |
| 四半期包括利益 | | | | | | | | |
| 四半期利益 | | | 27,227 | | | 27,227 | 1,189 | 28,416 |
| その他の包括利益 | | | | △50,095 | | △50,095 | △1,419 | △51,514 |
| 四半期包括利益合計 | | | | | | △22,868 | △230 | △23,098 |
| 資本で直接認識された所有者との取引: | | | | | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | | △10 | △10 | — | △10 |
| 親会社の所有者への配当金支払額 | | | △16,186 | | | △16,186 | — | △16,186 |
| 非支配持分への配当金支払額 | | | | | | — | △744 | △744 |
| 株式報酬取引 | | 135 | | | | 135 | — | 135 |
| 利益剰余金への振替 | | | △980 | 980 | | — | — | — |
| 連結子会社株式の取得による持分の変動 | | △1,449 | | | | △1,449 | △564 | △2,013 |
| その他 | | 8 | 66 | △1 | 4 | 77 | 101 | 178 |
| 2019年9月30日残高 | 87,784 | 117,008 | 910,488 | △113,891 | △45,302 | 956,087 | 21,397 | 977,484 |

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | | 非支配持分 | 資本合計 |
|--------------------|----------------|---------|---------|-------------|---------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | その他の資本の構成要素 | 自己株式 | 合計 | | |
| 2020年4月1日残高 | 87,784 | 114,754 | 924,293 | △115,791 | △63,750 | 947,290 | 20,343 | 967,633 |
| 四半期包括利益 | | | | | | | | |
| 四半期利益 | | | 48,783 | | | 48,783 | 556 | 49,339 |
| その他の包括利益 | | | | △8,969 | | △8,969 | 184 | △8,785 |
| 四半期包括利益合計 | | | | | | 39,814 | 740 | 40,554 |
| 資本で直接認識された所有者との取引: | | | | | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | | △110 | △110 | — | △110 |
| 親会社の所有者への配当金支払額 | | | △17,573 | | | △17,573 | — | △17,573 |
| 非支配持分への配当金支払額 | | | | | | — | △645 | △645 |
| 株式報酬取引 | | 81 | | | | 81 | — | 81 |
| 利益剰余金への振替 | | | 450 | △450 | | — | — | — |
| 連結子会社株式の取得による持分の変動 | | △3,748 | | | | △3,748 | △1,506 | △5,254 |
| その他 | | △1 | 847 | | 4 | 850 | 41 | 891 |
| 2020年9月30日残高 | 87,784 | 111,086 | 956,800 | △125,210 | △63,856 | 966,604 | 18,973 | 985,577 |

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 継続事業からの四半期利益 | 48,371 | 49,438 |
| 非継続事業からの四半期利益 (△損失) | △19,955 | △99 |
| 四半期利益 | 28,416 | 49,339 |
| 営業活動による純現金収入との調整 | | |
| 減価償却費及びその他の償却費 | 40,127 | 47,990 |
| 固定資産売却損益、除却損及び減損損失 | 958 | 1,578 |
| 非継続事業の売却損失 | 18,381 | 99 |
| 金融損益 | △716 | 1,135 |
| 持分法による投資損益 | 793 | 280 |
| 繰延税金 | 2,253 | 1,315 |
| 法人所得税費用 | 14,347 | 15,252 |
| 為替換算調整 | △2,205 | △4,704 |
| 退職給付に係る負債の増加 (△減少) | 1,249 | 524 |
| 営業債権の減少 (△増加) | △8,464 | △16,724 |
| 棚卸資産の減少 (△増加) | 747 | 7,799 |
| 営業債務の増加 (△減少) | 1,920 | △1,979 |
| その他—純額 | △13,781 | △12,054 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5,834 | 1,911 |
| 利息の支払額 | △5,361 | △2,944 |
| 法人所得税の支払額 | △10,650 | △12,703 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 73,848 | 76,114 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △71,732 | △47,529 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,005 | 1,513 |
| 無形資産の取得による支出 | △5,477 | △6,829 |
| 非継続事業の売却による収入 | 5,771 | 2,650 |
| 事業取得による支出 | △109,597 | △2,857 |
| その他—純額 | △330 | 765 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △180,360 | △52,287 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増加額 (△純減少額) | 24,232 | △11,674 |
| 長期債務による調達額 | 2,746 | — |
| 長期債務の返済による支出 | △18,663 | △17,679 |
| 社債の発行による収入 | 100,000 | 50,000 |
| 社債の償還による支出 | △15,000 | △50,000 |
| 非支配持分からの子会社持分取得による支出 | △2,035 | △5,310 |
| 自己株式の取得による支出 | △10 | △110 |
| 親会社の所有者への配当金の支払額 | △16,186 | △17,573 |
| その他—純額 | △927 | △716 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 74,157 | △53,062 |
| 為替相場変動の現金及び現金同等物に対する影響額 | △16,628 | △1,897 |
| 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額) | △48,983 | △31,132 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 242,267 | 206,986 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 193,284 | 175,854 |

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項**(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

(要約四半期連結財務諸表注記)**1. 報告企業**

日本電産株式会社（以下、「当社」）は日本に所在する株式会社であり、東京証券取引所に株式を上場しております。登記されている当社の本社及び主要な事業所の住所は、ホームページ（<https://www.nidec.com/jp/>）で開示しております。

要約四半期連結財務諸表は、2020年9月30日を期末日とし、当社及び当社の連結子会社（以下、「NIDEC」）、並びにNIDECの関連会社に対する持分により構成されております。

NIDECは、主に以下の製品の設計、開発、生産及び販売に従事しております。

- ①精密小型モータ（HDD用モータ、ブラシレスモータ、ファンモータ、振動モータ、ブラシ付モータ、モータ応用製品等）
- ②車載（車載用モータ及び自動車部品）
- ③家電・商業・産業用（家電・商業・産業用モータ及び関連製品）
- ④機器装置（産業用ロボット、カードリーダー、検査装置、プレス機器、変減速機等）
- ⑤電子・光学部品（スイッチ、トリマポテンシオメータ、レンズユニット、カメラシャッター等）
- ⑥その他（サービス等）

2. 作成の基礎

- (1) 要約四半期連結財務諸表が国際会計基準（以下、「IFRS」）に準拠している旨の記載

NIDECの要約四半期連結財務諸表は、四半期連結財務諸表規則第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IAS第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

要約四半期連結財務諸表は、連結会計年度の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものであります。

- (2) 測定の基礎

要約四半期連結財務諸表は、デリバティブ金融商品及び公正価値で測定する金融商品等の一部の資産及び負債を除き、取得原価を基礎として作成しております。

- (3) 表示通貨及び単位

要約四半期連結財務諸表は当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、特に注釈の無い限り、百万円未満を四捨五入して表示しております。

3. 重要な会計方針

NIDECが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同様であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均実効税率を基に算定しております。

4. 重要な会計上の見積り、判断及び仮定

要約四半期連結財務諸表の作成は、マネジメントによる決算日における資産・負債の報告金額並びに偶発的な資産・負債の開示、報告期間における収益・費用の報告金額に影響を与える見積り、判断及び仮定を必要としております。実際の結果は、それらの見積りと異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直され、会計上の見積りの見直しによる影響は、その見積りを見直した会計期間と将来の会計期間において認識されます。

本要約四半期連結財務諸表における重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断は、前連結会計年度に係る連結財務諸表と同様であります。

5. 企業結合に関する注記

IFRS第3号「企業結合」の規定を適用しております。

前連結会計年度のコンプレッサー事業Embraco及びRoboteq, Inc.の株式取得により取得した資産、引き継いだ負債に関する公正価値評価が第1四半期連結会計期間に完了致しました。また、前連結会計年度のオムロンオートモーティブエレクトロニクス株式会社（現 日本電産モビリティ株式会社）の買収により取得した資産、引き継いだ負債に関する公正価値評価が当第2四半期連結会計期間に完了致しました。これにより前連結会計年度の連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。

当第2四半期連結累計期間の買収により取得した資産、引き継いだ負債のうち、現在評価中の資産、負債については、当第2四半期連結会計期間末日時点の予備の見積りに基づいております。

3. その他

(1) 当連結会計年度における各四半期業績の推移状況

(単位：百万円)

| 科目 | 第1四半期連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) | 第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 336,876 | 414,918 |
| 営業利益 | 27,793 | 41,387 |
| 税引前四半期利益 | 27,410 | 38,595 |
| 四半期利益 | 20,387 | 28,952 |
| 親会社の所有者に帰属する四半期利益 | 20,058 | 28,725 |

(2) 製品グループ別売上高・営業損益情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

| | 精密小型 モータ | 車載 | 家電・商業 ・産業用 | 機器装置 | 電子・光学 部品 | その他 | 計 | 消去又は 全社 | 連結 |
|-------------------|-------------|---------|---------------|--------|-------------|-------|---------|------------|---------|
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客に対する 売上高 | 219,810 | 150,832 | 270,580 | 76,980 | 30,805 | 2,270 | 751,277 | — | 751,277 |
| 製品グループ間の 内部売上高 | 3,262 | 805 | 2,608 | 7,561 | 3,133 | 968 | 18,337 | △18,337 | — |
| 計 | 223,072 | 151,637 | 273,188 | 84,541 | 33,938 | 3,238 | 769,614 | △18,337 | 751,277 |
| 営業費用 | 198,083 | 138,055 | 254,573 | 73,352 | 31,550 | 2,906 | 698,519 | △9,029 | 689,490 |
| 営業利益 | 24,989 | 13,582 | 18,615 | 11,189 | 2,388 | 332 | 71,095 | △9,308 | 61,787 |

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

| | 精密小型 モータ | 車載 | 家電・商業 ・産業用 | 機器装置 | 電子・光学 部品 | その他 | 計 | 消去又は 全社 | 連結 |
|-------------------|-------------|---------|---------------|--------|-------------|-------|---------|------------|---------|
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客に対する 売上高 | 223,462 | 149,135 | 273,334 | 74,650 | 29,607 | 1,606 | 751,794 | — | 751,794 |
| 製品グループ間の 内部売上高 | 1,577 | 594 | 2,699 | 4,353 | 1,813 | 418 | 11,454 | △11,454 | — |
| 計 | 225,039 | 149,729 | 276,033 | 79,003 | 31,420 | 2,024 | 763,248 | △11,454 | 751,794 |
| 営業費用 | 191,940 | 145,332 | 254,011 | 66,674 | 28,103 | 1,843 | 687,903 | △5,289 | 682,614 |
| 営業利益 | 33,099 | 4,397 | 22,022 | 12,329 | 3,317 | 181 | 75,345 | △6,165 | 69,180 |

前第2四半期連結会計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

| | 精密小型 モータ | 車載 | 家電・商業 ・産業用 | 機器装置 | 電子・光学 部品 | その他 | 計 | 消去又は 全社 | 連結 |
|-------------------|-------------|--------|---------------|--------|-------------|-------|---------|------------|---------|
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客に対する 売上高 | 111,804 | 75,344 | 147,571 | 38,894 | 15,635 | 1,155 | 390,403 | — | 390,403 |
| 製品グループ間の 内部売上高 | 1,347 | 344 | 1,331 | 3,425 | 1,810 | 465 | 8,722 | △8,722 | — |
| 計 | 113,151 | 75,688 | 148,902 | 42,319 | 17,445 | 1,620 | 399,125 | △8,722 | 390,403 |
| 営業費用 | 98,656 | 68,873 | 138,962 | 36,437 | 16,348 | 1,476 | 360,752 | △4,504 | 356,248 |
| 営業利益 | 14,495 | 6,815 | 9,940 | 5,882 | 1,097 | 144 | 38,373 | △4,218 | 34,155 |

当第2四半期連結会計期間(自2020年7月1日至2020年9月30日)

(単位:百万円)

| | 精密小型 モータ | 車載 | 家電・商業 ・産業用 | 機器装置 | 電子・光学 部品 | その他 | 計 | 消去又は 全社 | 連結 |
|-------------------|-------------|--------|---------------|--------|-------------|-------|---------|------------|---------|
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客に対する 売上高 | 119,044 | 92,338 | 148,238 | 38,921 | 15,521 | 856 | 414,918 | — | 414,918 |
| 製品グループ間の 内部売上高 | 876 | 312 | 1,559 | 2,198 | 1,072 | 196 | 6,213 | △6,213 | — |
| 計 | 119,920 | 92,650 | 149,797 | 41,119 | 16,593 | 1,052 | 421,131 | △6,213 | 414,918 |
| 営業費用 | 101,104 | 87,995 | 136,742 | 34,971 | 14,772 | 955 | 376,539 | △3,008 | 373,531 |
| 営業利益 | 18,816 | 4,655 | 13,055 | 6,148 | 1,821 | 97 | 44,592 | △3,205 | 41,387 |

(注) 1. 製品グループは製品の種類、性質、製造方法及び販売方法の類似性を考慮し区分しております。

2. 各製品グループの主要な製品

- (1) 精密小型モータ …………… HDD用モータ、
ブラシレスモータ、ファンモータ、振動モータ、ブラシ付モータ、モータ応用製品等
- (2) 車載 …………… 車載用モータ及び自動車部品
- (3) 家電・商業・産業用 …………… 家電・商業・産業用モータ及び関連製品
- (4) 機器装置 …………… 産業用ロボット、カードリーダー、検査装置、プレス機器、変減速機等
- (5) 電子・光学部品 …………… スイッチ、トリマポテンショメータ、レンズユニット、カメラシャッター等
- (6) その他 …………… サービス等

(3) 所在地別売上高情報

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | | 増減 | |
|--------|---|--------|---|--------|---------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| 日本 | 136,739 | 18.2% | 125,031 | 16.6% | △11,708 | △8.6% |
| アメリカ | 144,768 | 19.3% | 151,922 | 20.2% | 7,154 | 4.9% |
| シンガポール | 17,891 | 2.4% | 20,192 | 2.7% | 2,301 | 12.9% |
| タイ | 59,683 | 7.9% | 68,468 | 9.1% | 8,785 | 14.7% |
| ドイツ | 62,914 | 8.4% | 44,808 | 6.0% | △18,106 | △28.8% |
| 中国 | 174,781 | 23.2% | 196,306 | 26.1% | 21,525 | 12.3% |
| その他 | 154,501 | 20.6% | 145,067 | 19.3% | △9,434 | △6.1% |
| 合計 | 751,277 | 100.0% | 751,794 | 100.0% | 517 | 0.1% |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日) | | 当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日) | | 増減 | |
|--------|---|--------|---|--------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| 日本 | 67,721 | 17.3% | 64,795 | 15.6% | △2,926 | △4.3% |
| アメリカ | 76,194 | 19.5% | 88,243 | 21.2% | 12,049 | 15.8% |
| シンガポール | 9,415 | 2.4% | 10,665 | 2.6% | 1,250 | 13.3% |
| タイ | 30,297 | 7.8% | 38,507 | 9.3% | 8,210 | 27.1% |
| ドイツ | 31,258 | 8.0% | 26,439 | 6.4% | △4,819 | △15.4% |
| 中国 | 91,787 | 23.5% | 105,262 | 25.4% | 13,475 | 14.7% |
| その他 | 83,731 | 21.5% | 81,007 | 19.5% | △2,724 | △3.3% |
| 合計 | 390,403 | 100.0% | 414,918 | 100.0% | 24,515 | 6.3% |

(注) 当売上高は、売上元別(出荷元の所在地別)であり、内部取引相殺消去後の数値です。

(4) 地域別売上高情報

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | | 増減 | |
|---------|---|--------|---|--------|---------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| 北米 | 162,262 | 21.6% | 162,834 | 21.7% | 572 | 0.4% |
| アジア | 346,384 | 46.1% | 370,613 | 49.3% | 24,229 | 7.0% |
| 欧州 | 128,958 | 17.2% | 113,855 | 15.1% | △15,103 | △11.7% |
| その他 | 17,722 | 2.3% | 17,425 | 2.3% | △297 | △1.7% |
| 海外売上高合計 | 655,326 | 87.2% | 664,727 | 88.4% | 9,401 | 1.4% |
| 日本 | 95,951 | 12.8% | 87,067 | 11.6% | △8,884 | △9.3% |
| 連結売上高 | 751,277 | 100.0% | 751,794 | 100.0% | 517 | 0.1% |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日) | | 当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日) | | 増減 | |
|---------|---|--------|---|--------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| 北米 | 80,327 | 20.6% | 94,305 | 22.7% | 13,978 | 17.4% |
| アジア | 183,847 | 47.1% | 196,580 | 47.4% | 12,733 | 6.9% |
| 欧州 | 65,464 | 16.8% | 66,122 | 16.0% | 658 | 1.0% |
| その他 | 12,579 | 3.2% | 10,828 | 2.6% | △1,751 | △13.9% |
| 海外売上高合計 | 342,217 | 87.7% | 367,835 | 88.7% | 25,618 | 7.5% |
| 日本 | 48,186 | 12.3% | 47,083 | 11.3% | △1,103 | △2.3% |
| 連結売上高 | 390,403 | 100.0% | 414,918 | 100.0% | 24,515 | 6.3% |

(注) 当売上高は、客先の地域別であり、内部取引相殺消去後の数値です。



4. 四半期連結決算概要

2020年10月26日
日本電産株式会社

2021年3月期(第48期) 第2四半期連結決算概要[IFRS]

(1) 連結業績の状況

(百万円未満四捨五入)

| | 前第2四半期 (累計) | 当第2四半期 (累計) | 前年同期増減率 | 前第2四半期 | 当第2四半期 | 前年同期増減率 |
|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------|-----------------------------|-----------------------------|----------|
| | 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日 | 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日 | | 自 2019年7月1日 至 2019年9月30日 | 自 2020年7月1日 至 2020年9月30日 | |
| 売上高 | 百万円 751,277 | 百万円 751,794 | % 0.1 | 百万円 390,403 | 百万円 414,918 | % 6.3 |
| 営業利益 | 61,787 (8.2%) | 69,180 (9.2%) | 12.0 | 34,155 (8.7%) | 41,387 (10.0%) | 21.2 |
| 税引前四半期利益 | 63,330 (8.4%) | 66,005 (8.8%) | 4.2 | 32,395 (8.3%) | 38,595 (9.3%) | 19.1 |
| 親会社の所有者に 帰属する四半期利益 | 27,227 (3.6%) | 48,783 (6.5%) | 79.2 | 23,943 (6.1%) | 28,725 (6.9%) | 20.0 |
| 基本的1株当たり 四半期利益 | 円 銭 46.26 | 円 銭 83.28 | | 円 銭 40.67 | 円 銭 49.04 | |
| 希薄化後1株当たり 四半期利益 | — | — | | — | — | |

(2) 連結財政状態

| | 前第2四半期末 | 当第2四半期末 | 前年度末 |
|-------------------------|------------------|------------------|------------------|
| 資産合計 | 百万円 1,989,191 | 百万円 2,078,544 | 百万円 2,122,493 |
| 親会社の所有者に 帰属する持分 | 956,087 | 966,604 | 947,290 |
| 親会社所有者 帰属持分比率 | % 48.1 | % 46.5 | % 44.6 |
| | 前第2四半期 | 当第2四半期 | 前年度 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 百万円 73,848 | 百万円 76,114 | 百万円 168,049 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △180,360 | △52,287 | △311,513 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | 74,157 | △53,062 | 128,546 |
| 現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高 | 193,284 | 175,854 | 206,986 |

(3) 配当の状況

| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 2020年3月期 | 円 銭 55.00 | 円 銭 60.00 | 円 銭 115.00 |
| 2021年3月期 | 30.00 | — | — |
| 2021年3月期(予想) | — | 30.00 | 60.00 |

(4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

| | |
|---------|-----|
| 連結対象会社 | 334 |
| 持分法適用会社 | 4 |

| | | 前期末(2020年3月)比 | 前年同期末(2019年9月)比 |
|---------|------|---------------|-----------------|
| 連結対象会社 | (増加) | 5 | 26 |
| | (減少) | 3 | 6 |
| 持分法適用会社 | (増加) | 0 | 0 |
| | (減少) | 0 | 0 |

- (注) 1. 「(1) 連結業績の状況」の()内は、対売上高比率を記載しております。
 2. 基本的及び希薄化後1株当たり四半期利益については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の数値を基に算出してしております。
 3. 当第2四半期連結累計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度の要約四半期連結財務諸表及び連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。
 4. 前第1四半期連結会計期間よりセコップ社の冷蔵庫向けコンプレッサー事業を非継続事業に分類しております。これにより、売上高、営業利益及び税引前四半期利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。
 5. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり情報を算定しております。また、2020年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。